

つながい

東金市立北中学校

第3学年だより

令和7年11月4日 第8号

文責:白井 嶺雄



～心に残る歌声が響きました～

10月22日(水)に東金文化会館で合唱コンクールが行われました。お忙しい中足を運んでいただき、ありがとうございました。

中学校生活最後の合唱コンクール。生徒達がこれまでの経験を活かしてどんな取り組みを見せてくれるのか、我々職員も楽しみにしていました。合唱コンクールに向けた練習が本格的になる前から「今年の合唱コンクールは頑張りたい」という声をあちこちで耳にしていたため、我々の期待は高まるばかりでした。9月後半、本格的に練習が始まるとな、その期待に応えるかのように着々と練習を重ねていく生徒たち。彼らの成長を実感せずにはいられませんでした。10月16日(木)の中間発表会では、さすが3年生と下級生に感じさせる合唱を披露しました。

そして迎えた当日、会館での最後の練習は、1組も2組も、とてもいい雰囲気で終えることができました。本番では、文化会館のステージ上では凜とした姿勢で全身から音楽への思いを放ち、その歌声は聞く人の心に深く響きました。

指揮者、伴奏者をはじめ、学級紹介者、パートリーダー、情報合唱委員、中心になって動いてくれたすべての人と、協力して頑張ったすべての生徒に心からの拍手を送りたいと思います。今年の合唱コンクールは、練習開始から本番まで、3年生の本気を見ることができた、最高の行事となりました。

～合唱コンクールを終えて～

合唱コンクールまでの練習で、人の意見をよく聞き、改善点を考え全力で取り組みました。今後もチームを大事に、みんなで協力していくと思いました。

1組 加瀬平智

家でも合唱の練習をし、前よりもしっかりと声を出して歌えるようになれたと思います。卒業式の合唱でも、今以上に大きな声で歌えるよう頑張りたいと思います。

1組 橋本歌絃

指揮者として、去年よりも表現力を上げ、挑めたと思います。意見を出し合い、士気を高め、1つのゴールに向かうことができたので、今後もみんなと一緒に1つのものを創り上げていきたいです。

1組 松ヶ谷思葉

全員でアドバイスを出し合って練習していく中で、このクラスで賞を取りたい気持ちが強くなりました。1つのものをつくり上げるために、一人一人が全力で頑張ることの大切さを学ぶことができました。

1組 三田茉凜

悔しさに泣いたときに、2ヶ月間、1つのことを継続して頑張れたのだと思えました。結果に関わらず、一番の思い出になれるのだと感じることができました。今後もみんなと喜び合えるようにしていきたいです。

2組 坂本璃穂

歌詞の意味を理解し、フレーズごとにどんな気持ちで歌うか、パートでアドバイスし合いながら曲を完成させることができました。一つ一つ努力することで、最高の合唱が作れることを学べました。

2組 真行寺勇斗

合唱を通して、自分の意見を伝えること、相手の意見を尊重し、よりよいものを創り上げる大切さを学びました。チームの中で自分のすべきことを考え、力を最大限に発揮できるようにしていきたいです。

2組 大西慧姫寿

今回の合唱で伴奏者として緊張に打ち勝ち、力を発揮することができました。クラスのみんなと力を合わせ、結果に対して本気で悔しいと思えるような合唱ができたので、今後もみんなと協力することを大切にしていきたいです。

2組 小野寺和心